

国保税・介護保険料値上げを問う

2月26日(月)10時 廣田徳子議員が代表質問

○議案60号、65号、66号

改正内容と今後への影響、効果について

○国民健康保険特別会計

・保険税率引き上げの効果と影響について

○介護保険料率の見直しについて

・第1号被保険者の保険料率見直しを行う理由

○高齢者への支援について

- (1) はり・きゅう・マッサージ施術扶助費の減額について
- (2) 配食サービスの拡充について
- (3) 高齢者等世帯ごみ出し支援の拡充について
- (4) 認知症総合支援事業・生活支援体制事業の業務の見直し

○防災行政について

- (1) 避難所の備品等の充実について
- (2) 災害時の保健医療体制の現状及び今後について

○保育行政について

- (1) 「こども誰でも通園制度(仮称)」に対する市の考え方
- (1) 運営費における人件費割合の公開について
- (2) 保育士の配置基準の見直しにより、どのような影響があるのか

○少子化対策について

- (1) 本市における子育て支援策が少子化対策に結びついているのか
- (2) 今後の少子化対策の考え方について

○海岸を含む塩浜2丁目の新たなまちづくりについて

- (1) 塩浜2丁目の新たなまちづくり計画について
- (2) 干潟整備の実施について、モニタリング調査結果から、誰がどのように判断するのか

○デジタル地域通貨ICHICOの実証実験の総括と今後について

- (1) アンケート結果について
- (2) 行政ポイントとの連携について

○環境行政について

- (1) 次期クリーンセンターの施設概要の考え方について
- (2) ごみの減量・資源化をどう進めていくのか
- (3) エネルギーの回収率をどのように考えるのか
- (4) 地域新電力会社の目的について

○市立美術館の開設における市の考えについて

<議会の日程>

2月22日～27日 代表質問
2月28日～3月1日
各常任委員会で予算審議
3月5日 委員長報告
3月6日～12日 一般質問



※ぜひ、傍聴においでください
※インターネット中継も行っています



日本共産党市川市議団報告

2024年2月発行 第347号

市川市八幡1-1-1 市川市役所控え室

047-334-1111 (内線18218)

とくたけ純平議員

3月8日(金)午前10時

○クリーンスパ市川について

- (1) 送迎バスのルートを増やす考えについて
- (2) 障がい者のリハビリのためにプールを利用することについて

○令和7年度に使用する市立学校の教科書採択について

- (1) 教科書採択に関する教育委員会会議の現状と課題について
- (2) 葛南西部採択地区協議会の現状と課題について
- (3) 教科書展示会の現状と課題について

○動物愛護・動物福祉の取り組みについて

- (1) 市川市動植物園について
 - ア、動物飼育の現状と課題について
 - イ、モルモットとのふれあいの現状と今後について
- (2) 保護動物の譲渡会を目的とした公民館の利用を認める考えについて

清水みな子議員

3月11日(月)午前10時

○教育行政運営方針について

- (1) 校内教育支援センターの開設の経緯と期待する効果について
- (2) 特別の支援や日本語指導を必要とする児童生徒へのきめ細やかな指導とは、具体的にどう進めるのか

○教育行政について

- (1) 教職員の働き方について
 - ・病休の現状と原因、対策について
 - ・働き方の改善に向けた現状と今後の取り組みについて
- (2) 小中学校の消耗品費、備品など予算の確保について
- (3) 学校給食について

○市民活動団体補助制度について

- (1) 本市の市民活動団体への支援制度について
- (2) 今後の支援のあり方について

やなぎ美智子議員

3月11日(月)午前11時

○消防行政について

- (1) Net119緊急通報システムについて
- (2) 外国人からの119番通報への対応について
- (3) 映像を用いた119番緊急通報システムについて

○コミュニティバスについて

- (1) 梨丸号(市川市コミュニティバス北東部ルート)における令和5年10月1日の改正について
- (2) 公共交通機関としてのコミュニティバスの利用促進について

○災害時の業務継続について

- (1) 市川市業務継続計画(震災編)について
- (2) 災害時の体制について

2月議会に向けた 「市政懇談会」を開催

2月9日、2月予算議会に向けた「市政懇談会」を開催しました。

まず、清水議員から、条例や来年度の予算(子育て支援策、高齢者への支援策)、クリーンセンターの建て替えなどを報告。廣田議員から、代表質問項目について報告しました。

意見として、「補聴器購入補助制度ができるようだが非課税世帯である。港区のように、誰でも利用できる制度にしてほしい」。外国人に日本語を教えている方からは「災害時に、外国人が苦勞している報道を目にする。もっと日本語学校のようなものを支援してほしい」「クリーンセンターの規模が小さくなるので、ごみの分別をしっかりとしないとダメですね」「災害時の医療体制についてしっかりとしてほしい」など出されました。

